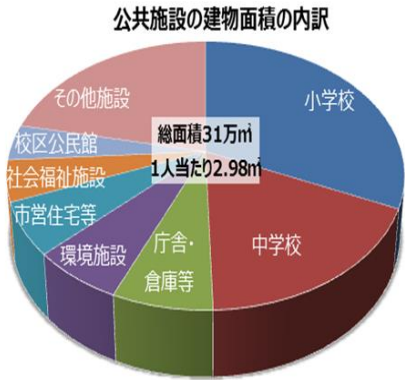


『 未来の糸島へ魅力ある公共施設を継承する ～公共施設マネジメントの取組み～ 』



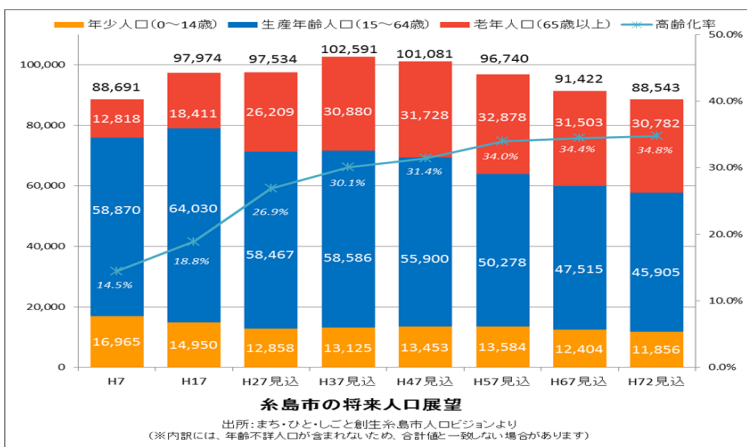
平成26年度末時点で、公共施設（建築物）の延床面積は、約31万㎡で、この半分近くを小中学校が占めており、その後に庁舎・倉庫等、環境施設、市営住宅が続いています。

1. 糸島市の公共施設を取り巻く現状

① 公共施設の保有量

本市では、都市化の進展や、市民ニーズに対応するために、学校や公民館、クリーンセンター等の公共施設、道路や橋、上下水道などのインフラ施設の整備を進めてきました。しかし、そのような市民生活を快適にする施設も、年月が経てば老朽化してきます。今後は施設の老朽化に対応するための、改修や更新対策が必要となってきます。

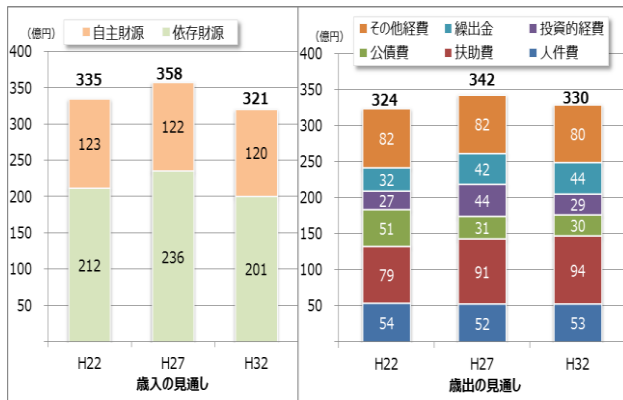
収入（歳入）は、税収減や交付税の減額等により減少し、支出（歳出）は、社会保障費（扶



② 人口推移
平成27年の国勢調査速報値による人口は、約9万6千人です。糸島市人口ビジョンの将来人口展望では、長期的には人口は減少し、少子高齢化が一層進展する見込みです。

要です。状況ですが、今後、老朽化は確実に進むため、早めの対策が必要

④ 公共施設の老朽化の状況

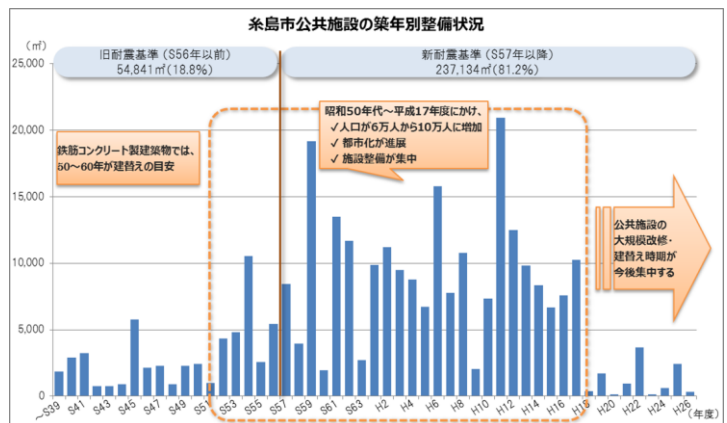


助費等）が増加し、施設更新や新規整備に使える経費（投資的経費）の確保が厳しくなる見通しです。

マネジメント」に取組みます。

このような問題に対応するため、経営的視点から施設を管理活用していく「公共施設マネジメント」に取組みます。

2. 公共施設マネジメントへの取組み



本市の現状を踏まえると、今ある全ての施設を適正に維持・更新していくことは難しく、また今後、市民の年齢構成など社会構造の変化への対応も必要です。